【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年1月11日(2023.1.11)

【公開番号】特開2021-65602(P2021-65602A)
【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-020
【出願番号】特願2019-195321(P2019-195321)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月27日(2022.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技を行う遊技機において、
複数の発光部を有する表示器と、
前記複数の発光部それぞれについて発光させる発光状態であるか発光させない非発光状態であるかを示す発光情報を記憶する発光情報記憶手段と、
発光情報が発光状態を示す発光部を発光させる制御を行い、発光情報が非発光状態を示す発光部を非発光とする制御を行う発光制御手段と、
特定制御を行う特定制御手段と、
を備え、
前記表示器により第１表示と第２表示を行うことが可能であり、
前記第１表示は、前記複数の発光部のうち特定発光部を発光させない表示であり、
前記第２表示は、前記複数の発光部のうち前記特定発光部を発光させる表示であり、
遊技機への電力供給が停止した後、遊技機への電力供給が再開したときに、前記発光情報記憶手段に記憶されている発光情報が、前記特定発光部の発光状態を示すものか、前記特定発光部の非発光状態を示すものか、を判定する判定手段をさらに備え、
前記特定制御手段は、遊技機への電力供給が再開したときに、前記判定手段の判定結果にもとづいて、前記発光情報記憶手段に記憶されている発光情報が、前記特定発光部の発光状態を示す場合と、前記特定発光部の非発光状態を示す場合と、で異なる特定制御を行う、遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項１の遊技機は、
遊技を行う遊技機において、
複数の発光部を有する表示器と、
前記複数の発光部それぞれについて発光させる発光状態であるか発光させない非発光状

態であるかを示す発光情報を記憶する発光情報記憶手段と、
発光情報が発光状態を示す発光部を発光させる制御を行い、発光情報が非発光状態を示す発光部を非発光とする制御を行う発光制御手段と、
特定制御を行う特定制御手段と、
を備え、
前記表示器により第１表示と第２表示を行うことが可能であり、
前記第１表示は、前記複数の発光部のうち特定発光部を発光させない表示であり、
前記第２表示は、前記複数の発光部のうち前記特定発光部を発光させる表示であり、
遊技機への電力供給が停止した後、遊技機への電力供給が再開したときに、前記発光情報記憶手段に記憶されている発光情報が、前記特定発光部の発光状態を示すものか、前記特定発光部の非発光状態を示すものか、を判定する判定手段をさらに備え、
前記特定制御手段は、遊技機への電力供給が再開したときに、前記判定手段の判定結果にもとづいて、前記発光情報記憶手段に記憶されている発光情報が、前記特定発光部の発光状態を示す場合と、前記特定発光部の非発光状態を示す場合と、で異なる特定制御を行う、
ことを特徴としている。
この特徴によれば、発光情報記憶手段に記憶されている発光情報が、特定発光部の発光状態を示すものか、特定発光部の非発光状態を示すものか、を判定するのみで、第２表示を行わせている状態であるか否かを特定して異なる特定制御を行うことが可能となる。